

東北風景写真家協会会員向け会報「東風季報」第22号です。当会報は会の行事、活動計画、各種のお知らせ、撮影適所、撮影情報、撮影テクニックなどの記事を掲載しております。

東風季報

発行 東北風景写真家協会
〒980-0803 仙台市青葉区国分町 3-8-1
勾当台ビル1階 エーゼット・フォト内
Tel 022-722-3755, Fax 022-722-3766
編集 秋葉・進藤

本年度第2回協会企画撮影会報告 美しい紅葉の立山連峰を撮ろう

10月3日ツアー開始
泉經由仙台駅西口を7時20分にいざ立山に出発。国見SA、米山SA等で休憩、昼食をとり称名の滝に着14時45分。落差350mの称名の滝とハンノキ滝のV字形した姿を期待し、滝に向かうが生憎の小雨模様。それでも諦めず期待し、1.3kmを急ぎ足で撮影地へ。霧(雲)の称名の滝撮影16時終了、これより室堂に向かう。途中の霧の中に浮かぶ紅葉の見事にバスの中は興奮のつぼと化した。天狗平近辺では最高に色付いた紅葉風景に出合い、一路室堂へ。

10月4日
早朝登山予定の人は4時起床、しかし期待も空しく生憎の雨で断念。写友は早朝から大観峰、黒部平、黒四ダム、剣岳方面、室堂平等それぞれの目的地に向け出し、大観峰は霧と雲、黒部平は天候に恵まれ素晴らしい撮影日和に。黒四ダムも劣らず素晴らしい撮影日和にめぐまれた様です。また、剣岳方面は秋田の小林さんが行かれ、結果はご期待です。室堂平は竹内会長のお話では素晴らしい夕日の撮影に挑戦出来た様です。それぞれ大満足の内に一日を終了。10月5日
早朝撮影、8時室堂出発。弥陀ヶ原到着8時30分撮影開始。10時30分終了。天候に恵まれ木々も紅葉して草紅葉も美しく輝き、素晴らしい撮影日和となりました。帰路は往と同じ高速道路経由にて無事仙台に到着。今回の撮影会は天候、例えようのない程素晴らしい紅葉の立山を土産に全員満足し、家路に付きました。(岡部晃次)



清水哲朗先生 スライド&トークセミナー 「フィルムとデジタルによる風景写真」

清水哲朗先生は日本写真の大家。防塵、防滴のデジタルカメラは過酷な場でも正しく作動を保障。十数年の経験を活かして撮影した風景写真を大冊の「CHANGE」に収められ、モンゴルで出版されている。路上少年
モンゴルへの入れ込みは並大抵ではない。零下30度の霧氷、川霧、その星、低緯度での赤いオーロラの画像は極めて珍しいものです。広いモンゴルの首都ウランバートルから何日もかけて未開の地にたどりつく。厳しい自然条件、車のトラブル、ゴビグマ、オオカミとの出会い等、手に汗握るものがある。砂嵐の中で取材の動画も緊迫した。

協会企画撮影ツアーのご案内
大観山と箱根からの富士山撮影
箱根の大観山と芦ノ湖からの富士山撮影を楽しむツアーが企画されました。以前にも企画されたことがありましたが、その時は生憎雲が広がり富士山はうまく写せませんでした。山の天気は予測が難しいですが晴れて芦ノ湖の先に富士山が見えたら最高に幸せです。旅行期間は平成25年2月3日(日)～5日(火)の2泊3日。旅行代金49,800円

第2回撮影実習セミナー 台原森林公園にて開催

通算第6回目となる撮影実習セミナーを11月14日台原森林公園にて開催しました。午前中は撮影し、午後仙台市青年文化センターエッグホールで一人5点作品選考と竹内会長に依頼したボジは丸山幹事が用意したライトボックス、届いたボジは丸山幹事が利用して自分で5点を選考し幹事長のPCに保存。届いたボジは丸山幹事が利用して自分で5点を選考し幹事長のPCに保存。

今年も残り1ヶ月となり今年度向け総会日程が決定しました。日時は平成25年1月20日午後2時～5時30分まで、場所はひとみ先生に今年に引き続き依頼しております。決まりましたら往復はがきにてご案内致します。小松先生には前回総会終了後の懇親会もご出席いただき、是非参加したいとお話して頂きました。

お知らせ

先生は第8回「美しい風景写真100人展」で12月22日東京のフジフィルムスクエアにてスライド&トークを予定しており、その辺のお話も聞けるかもしれません。
写真コンテスト
上位入選者
平成24年度宮城県写真展
審査員特別賞
古山恵子
「夜明けのハイモーン」
新規入会会員紹介
宮城県仙台市
才善 俊成
宮城県仙台市
孫田 栄一
孫田 とし子
宮城県仙台市
久合田 幸男
宮城県仙台市
佐藤 晃郎
平成25年度年会費
お支払いのお願い
協会の各種事業や「東風季報」の発行・郵送等は会員皆様の年会費にて運営しております。就きましては新年度年会費(3000円)を左記口座のどちらかにお支払い下さい。振込に要する手数料のご負担もお願い致します。

東風協ホームページがスタート

WEB担当幹事のご協力です。会長挨拶、イベント・催物案内、撮影会・イベントレポート、Webギャラリー、入会案内、「東風季報」創刊号からのライブラリ、協会顧問WEBサイトへのリンク、カメラメーカーへのリンク等いろいろ見る事が出来ます。又、WEBギャラリーでは皆さんの作品掲載も検討しています。お楽しみに!



WEB担当名久井 啓氏

旅行代金49,800円
2月3日(日)～5日(火)の2泊3日
集合場所 泉区役所駐車場
午前6時40分
仙台駅西口7時20分
撮影ポイント
大観山からの富士山

旅行期間は平成25年2月3日(日)～5日(火)の2泊3日。旅行代金49,800円
集合場所 泉区役所駐車場
午前6時40分
仙台駅西口7時20分
撮影ポイント
大観山からの富士山

旅行代金49,800円
2月3日(日)～5日(火)の2泊3日
集合場所 泉区役所駐車場
午前6時40分
仙台駅西口7時20分
撮影ポイント
大観山からの富士山

鳥海山さんざん紀行

平成24年の計画に鳥海山登山を掲げ、高校の同級生にお願いの連絡を取る。私は山形県酒田に生まれ鳥海山を毎日仰ぎ見て育ったが登ったことはなかった。長年の願いがやっと叶う時がやってきた。昨年の挑戦では頂上までは至らなかった。今年は急遽8月20日に登山を決定。8月22日朝五時に仙台を出、酒田に八時半着。滝の小屋口(湯の台)から、午前十一時、一路河原宿を目指し登山開始。所要時間一時間三十分目標。気温33度、不安を胸に二リッターの水と昼食、カメラ、三脚、レンズ、雨具、着替え等約10キロを背に出発。河原宿着12時半、予定より一時間の遅れ、水は全部空、やっとの思いで河原宿に到着。ここで昼食、雪渓の雪解け水で一息ついて、一時間休憩の後頂上を目指す。雪渓を横断し、爽やかさに元気回復。アザミ坂は、十分登って五分休みやつとの思いで外輪山に着く。大物忌神社小屋着は午後五時半となった。最終的には普通の工程に遅れること三時間三十分でした。休む間もなく五時四十分が指定食事時間、すぐに夕食につきました。六時頃日の入りの撮影に入ると霧、雲海で十分に分位の割で出たり消えたり、それでも飛鳥を眼下に日本海の豪快な夕日に遭遇しました。疲れも吹飛ばし思いでした。雲海は出現で夜景は無理で七時山となりました。



雪渓を歩く



日本海への落日



山頂でのご来光

鳥海山の撮影ポイントで、夜明けは五時二十分ごろ、慌てて山頂目指して登山開始、やっとのことでご来光に間に合う。ご来光を拝み、感動のうちに撮影する。下山は千蛇谷(雪渓)ルート七五三掛け、(鳥海湖)八丁坂、御浜小屋、大平小屋で縦走を終えました。縦歩行合計三万五千歩。振り返れば、自分の歳と体力の衰えを感じた登山となりました。

登るときは天候の確認と、出発時間は早めとし、早朝登山が基本のようです。我々が登り始めた頃に下山の登山者が多くおりました。(岡部晃次)



山頂でのご来光

喉元過ぎればの例え通り山登りは癖になりそうです。登るときは天候の確認と、出発時間は早めとし、早朝登山が基本のようです。我々が登り始めた頃に下山の登山者が多くおりました。(岡部晃次)

裏磐梯のエリア別撮影方法が訪れアドバイスをお願いしました。また、アマチュラ向けの写真教室があります。

このエリア別の「写真」の時代はこの数年間で超スピードの変化を遂げたのです。そんな中で、最近それを裏付けるような事象を見たので紹介したいと思います。

私たちがこのようなアマチュア写真表現の分野に紹介されています。十二月には「秋元湖周辺」、以下三ヶ月毎に、「03 曾原湖周辺」、「04 檜原湖周辺」、「05 檜原湖北エリア」、「06 雄国沼・大塩周辺」と順次発行されます。売上の一部は、震災地支援の予定のことです。(古山善一郎)

写真の世界は広がっています。業界に籍を置いていると、フィルムメーカーの製品減産や写真店の廃業など暗いニュースが飛び交っています。明日の光が見えないなんて言う人もいます。でも、これって世間が見えていないですよ。なぜかという概念が変わってしまっていることに気付かないのです。もう、「写真」の時代はこの数年間で超スピードの変化を遂げたのです。そんな中で、最近それを裏付けるような事象を見たので紹介したいと思います。

この季刊紙は毎回1日に発行しておりますが、今号は11月30日に清水哲朗先生のスライド&トークセミナーを開催。続いて12月1、2日東日本大震災復興支援セミナーを清水哲朗先生を特別講師にお迎えし、北上にて撮影会を開催した関係もあり、記事の作成や印刷、発送手配等が遅くなりましたことお断り申し上げます。当協会ホームページが立ち上がりまして、インターネットにより会報もご覧になれるようになりますので、作成スタイルや配布方法等の検討課題が出ております。今後会員の皆様には喜ばれる方向で進めてまいります。

昔のカメラで撮ってみませんか
藤枝 克治

カメラはフィルム(デジカメはメモリーカード)を装填して、シャッターを押せば後はカメラまかせで、きれいな写真が撮れます。いや、私は絞りを優先(シャッター優先)、露出補正もしてピントもマニュアルで合わせて・・・と、おっしゃる方も多数いらっしゃいます。一度昔のすべてマニュアル操作のカメラで撮ってみませんか。写真撮影の原点に帰れる気がし

交換は出来ません。シャッターはB・25〜300。フィルムはフロッピー。装填してからモックを掛けるので手に触れないよう

注意が必要。ブレの原因になります。一枚撮ったらまたフィルムを巻き上げて、次の撮影に入ります。赤窓の数字が12まで(フロッピー120)で、撮影が終了したら巻き上げノブを巻き上げて、裏蓋をはずしフィルムを取り出します。

裏磐梯のエリア別撮影方法が訪れアドバイスをお願いしました。また、アマチュラ向けの写真教室があります。

このエリア別の「写真」の時代はこの数年間で超スピードの変化を遂げたのです。そんな中で、最近それを裏付けるような事象を見たので紹介したいと思います。

私たちがこのようなアマチュア写真表現の分野に紹介されています。十二月には「秋元湖周辺」、以下三ヶ月毎に、「03 曾原湖周辺」、「04 檜原湖周辺」、「05 檜原湖北エリア」、「06 雄国沼・大塩周辺」と順次発行されます。売上の一部は、震災地支援の予定のことです。(古山善一郎)

写真の世界は広がっています。業界に籍を置いていると、フィルムメーカーの製品減産や写真店の廃業など暗いニュースが飛び交っています。明日の光が見えないなんて言う人もいます。でも、これって世間が見えていないですよ。なぜかという概念が変わってしまっていることに気付かないのです。もう、「写真」の時代はこの数年間で超スピードの変化を遂げたのです。そんな中で、最近それを裏付けるような事象を見たので紹介したいと思います。

この季刊紙は毎回1日に発行しておりますが、今号は11月30日に清水哲朗先生のスライド&トークセミナーを開催。続いて12月1、2日東日本大震災復興支援セミナーを清水哲朗先生を特別講師にお迎えし、北上にて撮影会を開催した関係もあり、記事の作成や印刷、発送手配等が遅くなりましたことお断り申し上げます。当協会ホームページが立ち上がりまして、インターネットにより会報もご覧になれるようになりますので、作成スタイルや配布方法等の検討課題が出ております。今後会員の皆様には喜ばれる方向で進めてまいります。

カメラはフィルム(デジカメはメモリーカード)を装填して、シャッターを押せば後はカメラまかせで、きれいな写真が撮れます。いや、私は絞りを優先(シャッター優先)、露出補正もしてピントもマニュアルで合わせて・・・と、おっしゃる方も多数いらっしゃいます。一度昔のすべてマニュアル操作のカメラで撮ってみませんか。写真撮影の原点に帰れる気がし

交換は出来ません。シャッターはB・25〜300。フィルムはフロッピー。装填してからモックを掛けるので手に触れないよう

裏磐梯のエリア別撮影方法が訪れアドバイスをお願いしました。また、アマチュラ向けの写真教室があります。

このエリア別の「写真」の時代はこの数年間で超スピードの変化を遂げたのです。そんな中で、最近それを裏付けるような事象を見たので紹介したいと思います。

私たちがこのようなアマチュア写真表現の分野に紹介されています。十二月には「秋元湖周辺」、以下三ヶ月毎に、「03 曾原湖周辺」、「04 檜原湖周辺」、「05 檜原湖北エリア」、「06 雄国沼・大塩周辺」と順次発行されます。売上の一部は、震災地支援の予定のことです。(古山善一郎)

写真の世界は広がっています。業界に籍を置いていると、フィルムメーカーの製品減産や写真店の廃業など暗いニュースが飛び交っています。明日の光が見えないなんて言う人もいます。でも、これって世間が見えていないですよ。なぜかという概念が変わってしまっていることに気付かないのです。もう、「写真」の時代はこの数年間で超スピードの変化を遂げたのです。そんな中で、最近それを裏付けるような事象を見たので紹介したいと思います。

この季刊紙は毎回1日に発行しておりますが、今号は11月30日に清水哲朗先生のスライド&トークセミナーを開催。続いて12月1、2日東日本大震災復興支援セミナーを清水哲朗先生を特別講師にお迎えし、北上にて撮影会を開催した関係もあり、記事の作成や印刷、発送手配等が遅りましたことお断り申し上げます。当協会ホームページが立ち上がりまして、インターネットにより会報もご覧になれるようになりますので、作成スタイルや配布方法等の検討課題が出ております。今後会員の皆様には喜ばれる方向で進めてまいります。



露出もバッチ

露出もバッチ

機会があれば紹介しま

機会があれば紹介しま

機会があれば紹介しま

機会があれば紹介しま

機会があれば紹介しま

機会があれば紹介しま

Photo Books

裏磐梯讃歌
黒原範雄 全撮影&解説

写真の世界は広がっています。業界に籍を置いていると、フィルムメーカーの製品減産や写真店の廃業など暗いニュースが飛び交っています。明日の光が見えないなんて言う人もいます。でも、これって世間が見えていないですよ。なぜかという概念が変わってしまっていることに気付かないのです。もう、「写真」の時代はこの数年間で超スピードの変化を遂げたのです。そんな中で、最近それを裏付けるような事象を見たので紹介したいと思います。

この季刊紙は毎回1日に発行しておりますが、今号は11月30日に清水哲朗先生のスライド&トークセミナーを開催。続いて12月1、2日東日本大震災復興支援セミナーを清水哲朗先生を特別講師にお迎えし、北上にて撮影会を開催した関係もあり、記事の作成や印刷、発送手配等が遅りましたことお断り申し上げます。当協会ホームページが立ち上がりまして、インターネットにより会報もご覧になれるようになりますので、作成スタイルや配布方法等の検討課題が出ております。今後会員の皆様には喜ばれる方向で進めてまいります。

編集後記

この季刊紙は毎回1日に発行しておりますが、今号は11月30日に清水哲朗先生のスライド&トークセミナーを開催。続いて12月1、2日東日本大震災復興支援セミナーを清水哲朗先生を特別講師にお迎えし、北上にて撮影会を開催した関係もあり、記事の作成や印刷、発送手配等が遅りましたことお断り申し上げます。当協会ホームページが立ち上がりまして、インターネットにより会報もご覧になれるようになりますので、作成スタイルや配布方法等の検討課題が出ております。今後会員の皆様には喜ばれる方向で進めてまいります。